

ひの市民活動団体連絡会ニュース25号

平成24(2012)年2月15日
 発行：ひの市民活動団体連絡会
 会長 湯口 裕
 編集：広報部会
 〒191-0012 東京都日野市日野1369-27
 TEL / FAX 042-581-6144
 E-mail:hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
 URL://hinokaturen.sakura.ne.jp/index.htm.

「ひの市民活動支援センター祭り 2011」開催

12月4日(日曜日)、小春日和に恵まれた晴天のもと、「ひの市民活動支援センター祭り 2011」が約200名の皆さんの参加で行われました。午前11時からの開会セレモニーでは湯口会長の挨拶のあと、荻原日野市企画部長・新井都議会議員・奥野市議会議員・長島衆議院議員秘書の安西さんからお祝いのご挨拶をいただきました。北側広場では地場野菜の直売・フランクフルト・クッキー・コーヒーなどの模擬店やフリーマーケットがオープンし、恒例のお餅つきも行われました。室内ではつき立てのお餅やとん汁の味わいコーナーや子ども工作教室、マンシ

ョン管理の相談コーナーや加盟団体紹介展示・パンフコーナーが設けられました。

午後からは「ジャンケンに勝ってディズニーチケットをゲットしよう」のジャンケン大会が行われ、無心の小学生がチケットを獲得しました。



2階では支援センターでマンドリンを練習している皆さんによるエーデルワイス・北国の春・上を向いて歩こうなどの演奏がされました。

→マンドリンの演奏会の様子



最後はお楽しみ抽選会。抽選の当り券は子どもさんに引いてもらい当選が決まるたびに大きな歓声に包まれました。参加者の連帯と活動の前進を誓い合いながら午後3時に閉会しました。祭り会場では東日本大震災被災者支援募金も行われ、集まった募金は「せんだい・みやぎNPOセンター」の「はばたけファンド」基金に送金しました。(このファンドは震災の救援・復興支援活動を行うNPOと被災したNPO向けの助成に特化したものです。)

当日の様子は、日野ケーブルテレビに放映されました。(広報部会 久保)



↑ お客さんで賑わうフリーマーケット

復興支援「気仙沼ふかひれスープ」の販売 ↑

← 1等上級そうめん一箱

… 笑顔がいっぱい! …

じゃんけん大会優勝! ↓

↓ 1等福島支援「サンふじ」一箱、2等チョコレート&フルーツ酢セット、3等ドレッシング&ジャムセット



行政による市民活動資金調達支援



公共サービスは長年行政が一手に引き受けてきました。しかし社会の複雑・多様化によって、もはや行政だけで市民のニーズに対応することは困難となり、市民参加への期待が高まり、多くの自治体で市民活動の支援に取り組むようになりました。このシリーズ第2回では、市民活動を促進するための行政の取組みについて、市民活動の資金づくりの面から考えてみましょう。

市民活動資金づくりの行政支援の方法

ほとんどの自治体が年度予算の中に市民団体等への委託事業や協働の予算を組んでいます。しかし膨らむ行政事業により財政難に陥り、税金に頼り過ぎない支援の方法が考え出されています。

行政による市民活動支援を活動資金の面からみると次のように整理できます。

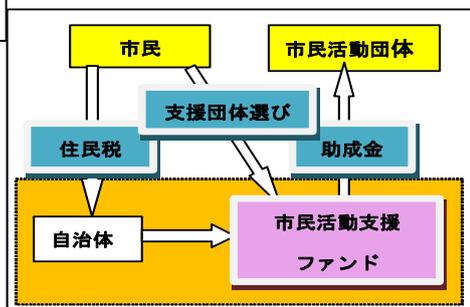
- ①100%税金を投入して行政が年度計画に組み込む。
- ②住民税の一定割合を市民活動に使い、その用途を市民の意見を聞いて決める。いわば【住民税方式】です。
- ③市民活動支援の資金を市民の寄付と、それと同額の行政予算の双方で賄う。【マッチングギフト方式】
- ④市民活動支援のため寄付を市民に募る。【寄付募集方式】

②～④は、市民活動に対する市民の関心と参加を促進することを目的とした新しい動きです。代表的な先進事例として次のものがあります。

【住民税方式】…代表例 市川市 図1

千葉県市川市では、個人住民税の1%を市民活動の支援に使う制度を平成17年に開始し、毎年1,000～1,500万円が市民の選択した市民団体の活動に交付されています。この制度の特徴として、住民税の一部を基金として積立て、それを市民の選択した市民活動事業に充てることにより、市民の関心を高める効果があります。

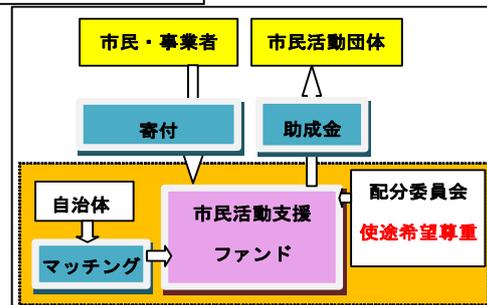
図1 住民税方式



【マッチングギフト方式】…代表例 宮崎市 図2

宮崎市では、市民や事業者の寄付を市がこれと同額を上乗せして市民活動支援基金とする制度を平成13年に創設しました。毎年300～600万円を市民活動団体に交付しています。

図2 マッチングギフト方式

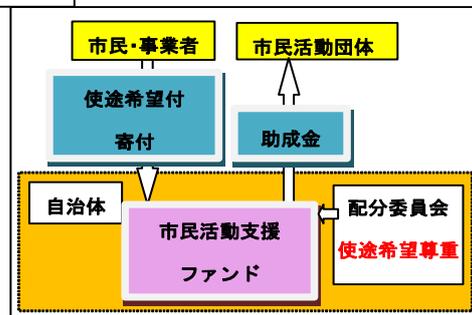


【寄付募集方式】…代表例 札幌市 図3

札幌市は、平成20年から市民や事業者からの寄付を市が募り、これによって市民団体が行う公益的活動を助成する「さぼーとほっと基金」という名称の制度に取り組んでいます。助成先は寄付者の希望を尊重して決定されます。平成22年度には6,000万円を超える基金が集まり、市民活動の支援に使われています。

同じような制度として、横浜市の「よこはま夢ファンド」、大阪市の「大阪市民活動推進基金」、福岡市の「あすみん夢ファンド」などがあります。

図3 寄付募集方式



これら3つの方式はいずれも、まちづくりへの市民の関心を高める効果があります。中でも寄付募集方式は昨今の行政の財政難時代における新しい市民活動推進の財源として注目すべきものです。市町村への寄付に対して大幅な税金の減額をすることとした昨年6月の寄付税制の改正（新寄付税制）が、寄付募集方式を強力に後押ししています。例えば神奈川県は、早々に「かながわ寄付をすすめる委員会」を立ち上げ、NPO等に対する寄付促進の体制づくりに向けた検討を始めています。寄付募集方式は市民活動発展の原動力となることが期待されます。シリーズ第3回は、楽しみながら寄付のできる方法について考えます。

(寄付文化プロジェクト・リーダー 湯口裕)



日野市議会議員と

市民活動団体連絡会との交流会開催報告

経緯:12月4日の市民活動支援センターまつりに来場した議員方と連絡会役員が懇談した際、議員側から「市民活動団体がどのようなことをしているのかわからない。市民活動に対して関心の薄い議員が多い。交流会のようなものが開けないか。」との提言を頂き、今回初めて交流会を開催することとなりました。開催にあたり、市議会議員全員に文書でご案内しました。

日時: 1月18日(水) 午前10時~12時
場所: 日野市役所本庁舎1階101会議室
参加者:

- ・市議会議員計 11 名、池田・梅田・大高・奥野
奥住・清水・菅原・中嶋・中谷・西野・峯岸
(あいうえお順、敬称略)
- ・市民活動団体 15 団体 (21 人)・地域協働課 2 名



当日の様子:

①市内における市民活動団体の全貌と課題 (湯口)

日野市内のNPO法人は48団体、内40%が当連絡会に加盟しています。市民活動団体は「行政とともに地域を支える公共の担い手」。市民活動が発展するための課題と寄付文化醸成のための支援(他市の取り組みの実例)を紹介しました。

②市民活動団体(加盟団体)の活動紹介と課題

各団体 10 分程度の予定だったが、どの団体も伝えたいことがたくさんあり時間オーバー気味でした。

- ・NPO 法人子どもへのまなざし
- ・ひの・まちの生ごみを考える会
- ・NPO 法人日野子ども劇場
- ・日野発達障害を考える会「スキッパー」
- ・NPO 法人市民サポートセンター日野

③参加した議員の方々より(詳細はHP最新情報で)

- ・とても勉強になった。もっと聞きたいし、皆さんからもっと学びたい。
- ・活動を理解するために現場に伺う必要があると感じた。
- ・各団体が公に近い活動をしていることが解った。
- ・行政の手が届かないところを皆さんが担っていることが解った。
- ・それぞれが行政と連携して活動しているのが解った。
- ・基本的に自分たちの力でやっていただきたい。頑張っている人は応援したい。

★ 今後も継続して、市議会議員と共に考える機会を設けていきたいと確認し閉会しました。

(広報部会 中川ひろみ)

… 「ひの市民活動団体連絡会」に加盟しませんか! …

現在(H24年2月)加盟しているのは**34団体**(内NPO法人18団体)

- ・環境分野 (3団体)
- ・高齢者・障害者福祉分野 (7団体)
- ・子ども・子育て支援分野 (6団体)
- ・まちづくり分野 (10団体)
- ・生活の豊かさ追求分野 (7団体)
- ・その他の分野 (1団体)

他の分野で活動している方々との出会いが宝物です

講座室や印刷機が利用出来るので助かっています



市民活動に必要な情報がもらえました

それぞれの団体の活動は連絡会ホームページ「団体紹介」で見ることができます <http://hinokaturen.sakura.ne.jp/>

地域協働課から

「日野市はもうすぐ 市制施行50周年を迎えます」

日野市は、昭和38年（1963年）に市制施行され、来年平成25年（2013年）で50周年を迎えます。

人口や経済が右肩上がりです。上昇し成長を遂げてきた高度成長期のような時代とは異なり、これからの自治体を的確に運営していくには、社会・経済・財政動向などを長期的な視点でとらえ予測するとともに、将来どのように暮らしていくか、そのためにどのような行動をしていくのかを市民の皆様と知恵を出し合っていくことが必要です。

そこで50年ビジョンプロジェクトとして、将来ビジョン構築のためのシンポジウムを開催します。市民活動団体の皆様も、是非ご参加ください。



【題名】 夢のあるまち日野へ

～自分たちの想いを語ろう～

【日時】 平成24年3月17日（土）

10:00～12:00（9:30開場）

【会場】 七生公会堂（入場無料）

【定員】 300名（当日先着）

【お問合せ先】 日野市企画部企画調整課

電話 042(585)1111(内線4112)

◇◆事務局だより◆◇

1. 市民活動支援センターの給湯器交換

支援センター台所の給湯器が地域協働課のご尽力により、1/6日付で新品と交換されました。（旧機の故障原因は電源が抜かれたことにより凍結装置が破損、修復できず）これで安心、温かい湯が使えます。大事に使ってね！

2. 事務室の整理整頓と美化にご協力を！

支援センターでは事務室整理の一環として、昨年暮れ作業室にA3用紙の保管台を設置しました。利用者は整理整頓、きちんと保管を心がけ皆さんが気持ちよく使えるよう、ご協力よろしくね！

3. 支援センター清掃&祭り報告

昨年12月4日（日）に開催したセンターの一斉清掃及びセンター祭りは無事終了、ご協力ありがとうございました。

☆清掃結果 参加者数：17団体 37名（因みに前回は13団体 22名）清掃とねんも公園の一斉除草も協力者が増え大変ありがたく思います。これからもご協力よろしくね！

☆センター祭り結果 参加者数 181名 前年より僅かですが増えています。模擬店、フリーマーケット、餅つき及び景品提供の皆様ご協力本当にありがとうございました。盛況のうちにお開きとなり関係者一同ホットしております。今年は更に良いものに致したく、アイデアのご提供よろしくお願い致します。



日野市市民活動団体パネル展

《日程》 3月26日（月）～4月9日（月）

《場所》 日野市市役所 1階ロビー

ひの市民活動団体連絡会に加盟している団体の活動を行政や広く市民のみなさんに知っていただくために毎年行っています。各団体の活動紹介パネルやパンフレットなどを手に取ることが出来ます。多数の皆様にご覧いただけたら幸いです。



…ひの市民活動団体連絡会総会…

《日時》 4月15日（日）14～16時

《場所》 ひの市民活動支援センター2階

《主な議題》・H23年度事業報告・決算報告

・H24年度事業計画(案)・予算(案)

加盟団体の皆様、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようよろしくお願いいたします。

編集後記

センター祭りの写真を連絡会ニュースに載せるために整理している時、参加された皆さんの笑顔・笑顔に気が付きました。笑顔を狙って撮ったわけではないのにどの顔も笑顔です。何かの活動に参加している皆さんは笑顔なのでしょうか？ 今年の干支は辰です、加盟団体の昇竜を願います。(NP0法人シニアネットクラブ 久保寿一)